

経営比較分析表（令和6年度決算）

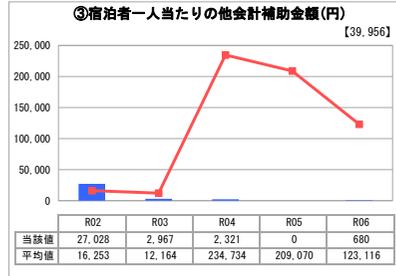
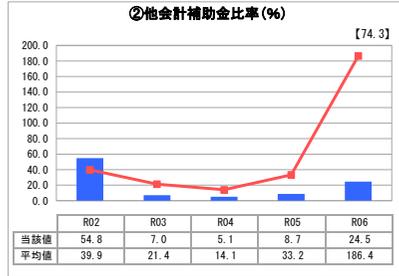
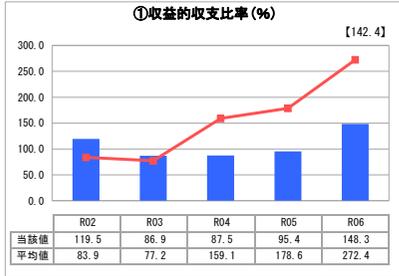
岡山県和気町 和気輪峯谷温泉

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	6,488	115	

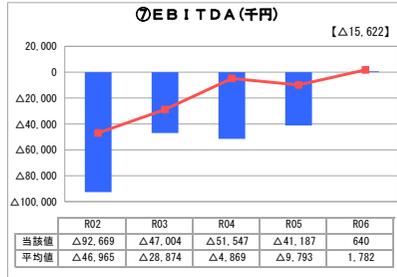
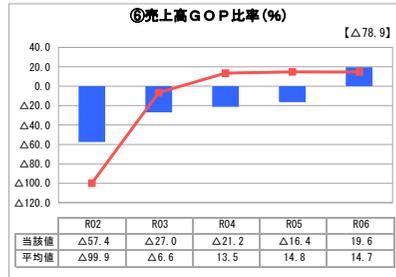
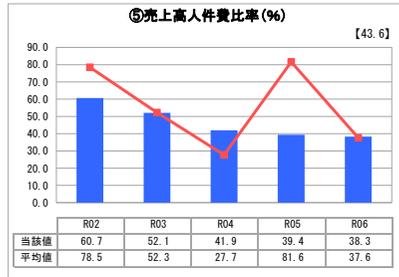
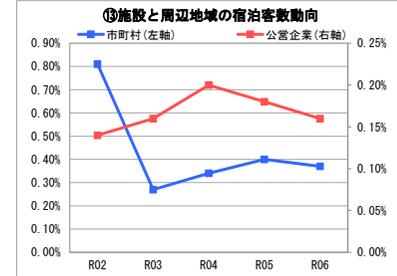
客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
9,370	無	43.1
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
有	100.0	有

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

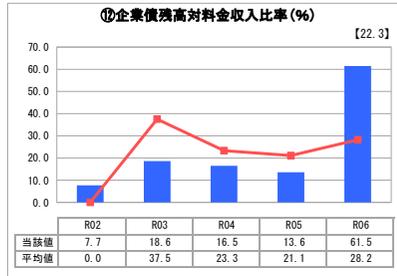


⑩施設の資産価値(千円)

1,490,076

⑪設備投資見込額(千円)

4,940



分析欄

1. 収益等の状況について
 諸物価高騰・各種修繕工事等の増加および各種設備備品の更新等により一般会計からの繰入額が大幅に増額している。宿泊稼働率はほぼ横這いであるが、最低賃金の上昇に伴い、人件費が上昇している。業務の効率化により、人件費率は抑制しているが、今後はさらに人員配置の適正化に努めるとともに、次年度には料金改定を行い、より一層の経営改善に努める。

2. 資産等の状況について
 前年度からの繰越し事業に加えて、各種修繕および各種設備備品を更新したことによる地方債が例年より大幅に高くなっている。今後も長期修繕計画により施設の維持管理に努める。

3. 利用の状況について
 宿泊稼働はほぼ横這いであるが、コロナ禍後の生活様式の変化に伴い、宴会利用は落ち込み傾向である。温泉やレストラン等日帰り利用については回復傾向である。

全体総括

施設老朽化対策で各種修繕工事および設備備品の更新を大規模に展開した一年であった。今後も長期修繕計画により、施設の資産価値の維持および利便性、快適性の向上を目指し、利用者増大を図る。